

基本方針4 子どもたちの豊かでたくましい人間性をはぐくみます

【基本的方向】

- ① 小・中・高一貫したキャリア教育を推進するとともに、地域と連携した体験活動や読書活動を充実し、粘り強くチャレンジする力をはぐくむ教育を充実します。
- ② 歴史や芸術・文化・学術等に関する教育を推進し、郷土への誇りや伝統・文化を尊重する心をはぐくみます。
- ③ 民主主義をはじめとした社会のしくみについての教育を推進し、社会の一員として参画し貢献する意識や公共の精神を醸成します。
- ④ 社会のルールを守り、違いを認め合い人を思いやる豊かな人間性をはぐくむ人権教育・道徳教育を推進します。
- ⑤ 子ども自身の問題解決能力をはぐくむとともに、関係機関との連携や支援チームの活用等により、いじめや不登校等の生徒指導上の課題解決に向けた対応を強化します。
- ⑥ 教員研修の実施など校内の指導体制を強化し、体罰等の防止に取り組みます。

【重点取組の点検結果】


項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
20 夢や志を持って粘り強くチャレンジする力のはぐくみ 《基本的方向①》	68 キャリア教育の推進	キャリア教育全体指導計画に基づいた取組みの共有：100%をめざす	各中学校区におけるキャリア教育全体指導計画の作成率：94.1% (平成 28 年度)	キャリア教育全体指導計画に基づいた取組みの共有：71.2%	△	児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育プログラムの推進	◆研修等を通じて「大阪府キャリア教育プログラム」の周知・普及と、中学校区におけるキャリア教育全体指導計画に基づいた取組みの検証・改善について指導した。 ・キャリア教育にかかる研修 7月 中学校進路指導担当者連絡会 8月 キャリア教育指導者養成研修 4、11月 キャリア教育・進路指導担当指導主事連絡会
		府立高校卒業者の就職率：全国水準をめざす	府立高校卒業者の就職率：95.1% (※全国:98.0%) (就職者の就職希望者に対する割合) (平成 28 年度)	府立高校卒業者の就職率：94.3% (※全国:98.2%)		府立高校卒業者の就職率：94.3% (※全国:98.2%)	校内支援体制の充実

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
20 夢や志を持って粘り強くチャレンジする力のはぐくみ 《基本的方向①》	69 地域と連携した体験活動の推進	【環境学習】 水生生物センター来場者数： 4,000 人 (※大人含む) (平成 30 年度から)	水生生物センター来場者数： 3,989 人 (※大人含む) (平成 28 年度)	生物多様性センター来場者数： 3,296 人 (※大人含む) (注) 水生生物センターは建替えに伴い生物多様性センターに名称を変更(平成 30 年 4 月)。 建替工事時の受入れ制限の影響を引き続き受けていることや、水槽展示の減少等による来場者の減少があったと考えられる。	×	生物多様性センターでの体験学習、イベント等の実施	◆子どもの体験・交流活動の場を提供するため、自然体験学習を実施した。 ◆生き物とふれあうことを通じて、生物多様性について学んでもらった。 ・職場体験学習 ・集中セミナー・研修等 ◆調査研究をはじめとする生物多様性センターの業務や、府内の生物多様性についての知識を深めてもらった。
	70 子どもの発達段階に応じた読書環境の充実	子どもの読書活動推進に関わる人を対象とする研修・講座等の継続実施 (平成 30 年度から)	子どもの読書活動推進に関わる人を対象とする研修・講座等の実施 【参考】 回数：41 回 受講者数： 延べ 2,046 人 (平成 29 年度)	子どもの読書活動推進に関わる人を対象とする研修・講座等の実施 【参考】 回数：48 回 受講者数： 延べ 2,110 人	◎	子ども読書活動環境整備の取組み 	◆教職員や、図書館司書、読書ボランティアや放課後子ども教室のスタッフなどを対象として、以下の取組みを行った。 ・読書の重要性や子ども読書活動の好事例等を伝える講習会・フォーラム ・ビブリオバトル・えほんのひろば等の子ども読書を推進するための手法を学ぶ研修・講座 ・2017 年度出版児童書の紹介講座 ・図書館における児童サービスに関する研修・講座
		公立図書館と連携を実施している学校の割合： 小学校：95.0% 中学校：80.0%	公立図書館と連携を実施している学校の割合： 小学校：89.4% 中学校：60.9% (平成 28 年度)	公立図書館と連携を実施している学校の割合： 小学校 94.2% 中学校 56.7%	△	公立図書館と学校との合同研修の実施	◆公立図書館職員、司書教諭及び学校図書館担当職員を対象に、地域の図書館と学校図書館の役割について考え、その連携を強化するための研修を実施した。 (3 回 計 197 人)

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
21 社会に参画し貢献する意識や態度のはぐくみ 《基本的方向②》	71 近現代史をはじめとした歴史に関する教育の実施	72 歴史・文化にふれる機会の拡大				<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 20px; background-color: #f0f0f0;"> <div style="border: 2px solid black; background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> 第1回審議会において審議済み </div> </div>	

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
21 社会に参画し貢献する意識や態度のはぐくみ 《基本的方向②》	72 歴史・文化にふれる機会の拡大	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 40px;"> <div style="border: 2px solid black; background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block; margin: 20px auto; width: 80%;"> 第1回審議会において審議済み </div> </div>					
21 社会に参画し貢献する意識や態度のはぐくみ 《基本的方向③》	73 民主主義など社会の仕組みに関する教育の推進						

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
22 ルールを守り、人を思いやる豊かな人間性のはぐくみ 《基本的方向④》	74 道徳教育の推進	(公立小・中学校) 府内すべての公立小・中学校で実践事例集を活用した授業を実施	実践事例集の普及・活用に係る周知 (平成 29 年度)	実践事例集の活用率は、小中とも 100%	○	道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆「特別の教科 道徳」実践事例集を平成 29 年度に配布し、活用の周知を図ったところ、全小中学校が授業づくりに活用した。 ◆指導方法や評価方法の研究を行う推進校を 14 校 (小・中学校別各 7 校) 指定し、連絡協議会を 3 回実施した。 ◆全小・中学校の道徳教育推進教師対象の研修会を小・中学校別 (7/31, 8/24) に実施し、道徳科の指導と評価についての研修を行った。(1,031 名参加)。
		—	—	—		—	道徳教育の推進

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
22 ルールを守り、人を思いやる豊かな人間性のはぐくみ 《基本的方向④》	75 「こころの再生」府民運動の推進	「こころの再生」府民運動の趣旨を踏まえた取組み(あいさつ運動を含む)をPTAや地域とともに実施している学校の割合：85%	「こころの再生」府民運動の趣旨を踏まえた取組み(あいさつ運動を含む)をPTAや地域とともに実施している学校の割合：71% (平成 29 年度)	「こころの再生」府民運動の趣旨を踏まえた取組み(あいさつ運動を含む)をPTAや地域とともに実施している学校の割合：59%	△	あいさつ運動推進事業 豊かな人間性をはぐくむ取組み推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校での取組みを支援 <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動関連グッズ(のぼり等)を提供するとともに、イベントベスト等の貸し出しを行い、取組みを推進した。 ・あいさつ運動を含む優れた取組みを行った学校を表彰し、好事例をホームページ等で紹介した。 ◆府民運動の啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・「こころの再生」府民運動推進月間(11月)に向けて、10月末に、全公立小中学校等、府立学校に教室掲示用ポスター等を配付した。 ・パートナー企業・団体と協働し、イベント会場で「こころの再生」府民運動の啓発ブースを設置し、府民に周知を図った。
	76 非行防止・犯罪被害防止に向けた取組み	非行防止・犯罪被害防止教室の実施小学校の割合：100%(政令市除く)の維持 (平成 30 年度から)	非行防止・犯罪被害防止教室の実施小学校の割合：100%(政令市除く) (平成 28 年度)	非行防止・犯罪被害防止教室の実施小学校の割合：100%		◎	小学校高学年に対する非行防止・犯罪被害防止教室

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
22 ルールを守り、人を思いやる豊かな人間性のはぐくみ 《基本的方向④》	77 人権教育の推進	(公立小・中学校) 小・中学校における人権教育に関する研究授業の実施率： 100%をめざす	小・中学校における人権教育に関する研究授業の実施率： 34.9% (平成 28 年度)	小中学校における人権教育に関する研究授業の実施率： 50.4%	△	研究学校等指定事業	◆国事業を活用してモデル校を指定し、人権教育の取組みに関する調査研究を行い、研究校の公開授業を通して、好事例の普及を図った(11月2回、12月1回)。 人権教育をめぐる国内の動きや現代における差別事象と差別意識の特徴、人権教育に取り組む学校づくりについての講演を含む人権教育フォーラムを実施した(2月)。 市町村教育委員会と連携し、人権教育教材集・資料を活用した研修を実施した(11月)。
		(府立高校) 「人権教育COMPASS」活用率： 100%の維持 (平成 30 年度から)	「人権教育COMPASS」活用率： 100% (平成 28 年度)	「人権教育COMPASS」活用率： 100%		◎	(府立学校) 安全で安心な学校づくり推進事業

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
22 ルールを守り、人を思いやる豊かな人間性のはぐくみ 《基本的方向④》	78 国際理解教育等の推進	【国際交流事業】 国際交流事業の継続実施 (平成 30 年度から)	国際交流事業 外国への修学旅行実施：33 校 外国への研修旅行実施：48 校 外国からの教育旅行の受入れ：53 校 (平成 28 年度)	国際交流事業 外国への修学旅行実施：38 校 外国への研修旅行実施：48 校 外国からの教育旅行の受入れ：53 校 (平成 28 年度) 3 カ月を超える外国人留学生の受入れ：25 校		国際理解教育等の推進	◆国際関連 3 団体 (JICA、国際交流基金関西国際センター、(財)大阪府国際交流財団) がボランティアとして招聘している、海外の外交官や公務員、日本に関する研究を行う研究者、海外の大学や高校等で日本語を学習する優秀な学生などの協力により、府立高校生が多様な文化に対する理解を深めることができるよう、文化やスポーツなどの交流機会を提供した (実施校 延べ 28 校)。
		【在日外国人教育】 公立小・中学校における「在日外国人教育のための資料集」の活用率： 100%をめざす	公立小・中学校における「在日外国人教育のための資料集」の活用率： 72.2% (平成 28 年度)	「在日外国人教育のための資料集」の活用率 小学校：78.4% 中学校：68.6% 【参考】 小学校：80.7% 中学校：67.6% (平成 29 年度)	△	在日外国人教育の推進	◆小・中学校の教員等対象の研修で資料集の周知と活用の推進を図るとともに、市町村ヒアリング (7、8 月) において、活用状況を把握し、指導・助言を行った (5、6、9、2 月)。
		府立学校における「在日外国人教育のための資料集」の活用率： 100%をめざす	府立学校における「在日外国人教育のための資料集」の活用率： 89.0% (平成 28 年度)	府立高校における「在日外国人教育のための資料集」の活用率： 96.0% (平成 29 年度)		在日外国人教育の推進	◆平成 24 年 7 月に新しい在留資格制度が導入されたことを受け、人権担当者研修等の機会を通じて、「在日外国人教育のための資料集」を府立高校に周知した。

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
22 ルールを守り、人を思いやる豊かな人間性のはぐくみ 《基本的方向④》	78 国際理解教育等の推進	【帰国・渡日児童・生徒への支援】 日本語指導対応加配教員を引き続き配置 (小中) (平成 30 年度から)	日本語指導対応加配教員の配置 (小中) : 76 名 (平成 29 年度)	日本語指導対応加配教員の配置 (小中) : 76 名	◎	日本語指導対応加配教員の配置	◆国加配を活用し、日本語指導が必要な児童生徒の課題が顕著な学校に、日本語指導対応教員を配置した。また、府内 7 地区において、指導方法や教材の共有化を進めるために研究協議会を実施した。
		教育サポーター登録者数の増加 派遣回数増加	教育サポーター登録者数 : 479 名 派遣回数 : 595 回 (平成 28 年度)	教育サポーター登録者数 : 511 名 派遣回数 : 748 回	○	日本語教育学校支援事業	◆一般・早期派遣 : 22 校、対象生徒数 82 名、延べ派遣回数 542 回 ◆保護者懇談等通訳派遣 48 校、延べ対象生徒数 242 名、延べ派遣回数 206 回
		多言語による進路サポート情報の充実	多言語による進路サポート情報 : 10 言語 (平成 29 年度)	多言語による進路サポート情報 : 11 言語	○	帰国・渡日児童生徒学校生活サポート推進事業	◆11 言語による学校での生活や進路情報についてホームページを活用して提供した。 ◆日本語指導を必要とする帰国・渡日児童生徒やその保護者等を対象に、市町村との連携のもと、多言語による進路ガイダンス等を府内 8 地区で計 10 回実施 (7~11 月) した。
		担当教員研修の充実	担当教員研修 小中 : 3 回 (250 名) 高校 : 4 回 (111 名) (平成 29 年度)	担当教員研修 小中 : 3 回 (229 名) 高校 : 4 回 (99 名)	△	(小・中学校) 担当教員等対象の研修の実施 (高等学校) 日本語教育学校支援事業	◆小・中学校については、対象児童生徒一人ひとりの日本語能力を把握し、実態に応じて日本語指導ができるよう、教員を対象とした DLA (外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント) の実践演習等の研修を 2 回実施した (5、11 月)。府域 7 地区で日本語指導地区別研究協議会を実施した。(6 月 : 6 地区、7 月 : 2 地区、12 月 : 1 地区) ◆高等学校については、外国人生徒や帰国生徒の増加、多言語化、受入経験のない学校への転入等の現状や、学校、地域での受入れに伴う諸課題について、協議及び情報交換を行った。(4、5、6、2 月)

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
22 ルールを守り、人を思いやる豊かな人間性のはぐくみ 《基本的方向④》	79 障がい理解教育・福祉教育の推進	全公立小・中学校、府立高校の全学級で障がい理解教育を引き続き実施 (平成 30 年度から)	全公立小・中学校、府立高校の全学級で障がい理解教育を実施 (平成 29 年度)	全公立小・中・高校の全学級で障がい理解教育を実施	◎	障がい理解教育・福祉教育の推進	◆人権教育主管課長会や研修会、市町村教育委員会へのヒアリング等で、福祉教育指導資料集『ぬくもり』や教員の研修用指導資料『ともに学び、ともに育つ』支援教育の更なる充実のために』の実践事例等の活用を促した。 ◆小学校、中学校、義務教育学校、高等学校等教職員を対象に障がい理解教育研修会を実施した。(6/22、参加者：小中学校 217 名、高校 56 名)
		幼・小・中・高校・支援学校対象の研修受講者の肯定的評価： 90%以上 (平成 30 年度から)	幼・小・中・高校・支援学校対象の研修を実施 (平成 29 年度)	幼・小・中・高校・支援学校対象の研修受講者の肯定的評価： 91.3%		障がい理解・啓発推進研修	◆共生社会の実現に向けた「ともに学び、ともに育つ」教育を進めるため、いくつかの障がい種を取り上げ、その障がいの当事者等の願いや経験、実践を知り、障がいに対する理解を深める研修を実施した。
		府立高校における体験活動に重点をおいた福祉教育の実施： 100%をめざす	府立高校における体験活動に重点をおいた福祉教育の実施状況： 93.5% (平成 28 年度)	府立高校における体験活動に重点をおいた福祉教育の実施状況： 91.3%		体験活動に重点をおいた福祉教育の推進	◆体験活動に重点をおいた福祉教育として、幼稚園・保育所や介護施設での実習、校内での車いす体験、障がいのある人との交流、支援学校と連携した取組みなどを行った。

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
22 ルールを守り、人を思いやる豊かな人間性のはぐくみ 《基本的方向④》	80 学校による手話を学ぶ 機会の提供	府内難聴学級等 にも拡大	社会人向け手話 講座として府立 聴覚支援学校 4 校の教員を対象 とした講座を実施 (平成 29 年度)	社会人向け手話 講座として府立 聴覚支援学校 4 校の教員を対象 とした講座を実施	○	社会人向け手話 講座	◆府立聴覚支援学校 4 校の教員を対象に手話 講座を実施した。 【開催回数 (延べ参加人数)】 中央聴覚支援学校 19 回 (延べ 108 名) 生野聴覚支援学校 10 回 (延べ 57 名) 堺聴覚支援学校 6 回 (延べ 39 名) だいせん聴覚高等支援学校 22 回 (延べ 177 名) 【主な内容】 ・指文字、数字、表情、感情、強弱 ・自己紹介 (名前、家族、趣味、住所) ・学校用語の手話 (教科、教材、備品) ・手話学習の 8 ポイント (表情、主語、同時 性、空間、代理的表現、語彙、繰り返し、置 き換え) 等
23 いじめや 不登校等の 生徒指導上 の課題解決 に向けた対 応の強化 《基本的方 向⑤》	81 いじめ解 決に向けた総 合的な取組み の推進	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 20px; background-color: #e0e0e0;"> <div style="border: 1px solid black; background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px auto; width: 80%;">第1回審議会において審議済み</div> </div>					

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
23 いじめや不登校等の生徒指導上の課題解決に向けた対応の強化 《基本的方向⑤》	81 いじめ解決に向けた総合的な取組みの推進					<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <div style="border: 2px solid black; background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">第1回審議会において審議済み</div> </div>	

(注) 目標に対する平成 29 年度実績の進捗状況を記載。

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
23 いじめや不登校等の生徒指導上の課題解決に向けた対応の強化 《基本的方向⑤》	82 児童・生徒等に対する学校相談体制の充実	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 20px; text-align: center;"> <p>第1回審議会において審議済み</p> </div>					
	83 福祉や警察など関係機関の連携による取組みの推進 【基本方針2 (2) 具体的取組 36 の一部再掲及び基本方針4 具体的取組 76 の一部再掲】						

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
23 いじめや不登校等の生徒指導上の課題解決に向けた対応の強化 《基本的方向⑤》	83 福祉や警察など関係機関の連携による取組みの推進 【基本方針2 (2) 具体的取組 36 の一部再掲及び基本方針4 具体的取組 76 の一部再掲】	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <div style="border: 2px solid black; background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px auto; width: 80%;"> 第1回審議会において審議済み </div> </div>					
	84 不登校の未然防止や学校復帰のための支援の推進						

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
23 いじめや不登校等の生徒指導上の課題解決に向けた対応の強化 《基本的方向⑤》	85 小・中学校における生徒指導体制の強化					<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <div style="border: 2px solid black; background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> 第1回審議会において審議済み </div> </div>	

(注) 目標に対する平成 29 年度実績の進捗状況を記載。

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
23 いじめや不登校等の生徒指導上の課題解決に向けた対応の強化 《基本的方向⑤》	86 私立学校における児童・生徒への支援・相談の取組みの促進	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 25px; padding: 20px; background-color: #e0e0e0;"> <div style="border: 2px solid black; background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px auto; width: 80%;"> 第1回審議会において審議済み </div> </div>					
24 体罰等の防止 《基本的方向⑥》	87 教員の人権感覚の育成 【基本方針6 具体的取組 104 の再掲】						
	88 運動部活動指導者の資質向上						

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
24 体罰等の 防止 《基本的方 向⑥》	89 体罰等に関する相談体制の整備	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 10px; background-color: #e0e0e0;"> <div style="border: 2px solid black; background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px auto;"> 第1回審議会において審議済み </div> </div>					
	90 私立学校における体罰等の防止への対応						

【指標の点検結果】 ※全国学力・学習状況調査に係る指標については、当該年度の状況が次年度の結果に反映されるため、「計画策定時の現状値」及び「実績値」には次年度の結果を記載

指標	目標値 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績値	点検結果	
○指標 23 「将来の夢や目標を持っている」児童・生徒の割合	向上させる	小6 : 83.7% (全国 : 85.9%) 中3 : 68.3% (全国 : 70.5%) (平成 29 年 4 月調査)	小6 : 81.2% (全国 : 83.8%) 中3 : 67.4% (全国 : 70.5%)	△	いずれも計画策定時の実績を下回った。
○指標 24 「ものごとを最後までやりとげたことがある」児童・生徒の割合	向上させる	小6 : 94.3% (全国 : 94.8%) 中3 : 93.5% (全国 : 94.7%) (平成 29 年 4 月調査)	小6 : 94.9% (全国 : 95.2%) 中3 : 93.0% (全国 : 93.9%)	△	計画策定時に比べ、中学校で実績を下回った。
○指標 25 「読書が好き」な児童・生徒の割合	全国水準をめざす (令和 2 年度)	小6 : 47.1% (全国 : 49.0%) 中3 : 39.3% (全国 : 46.1%) (平成 29 年 4 月調査)	小6 : 43.7% (全国 : 44.3%) 中3 : 34.0% (全国 : 38.9%)	△	小6・中3ともに計画策定時に比べ、実績を下回ったが、全国平均との差は縮小した。
○指標 26 「自分には良いところがある」児童・生徒の割合	向上させる	小6 : 74.9% (全国 : 77.9%) 中3 : 65.6% (全国 : 70.7%) (平成 29 年 4 月調査)	小6 : 77.9% (全国 : 81.2%) 中3 : 68.4% (全国 : 74.1%)	○	いずれも計画策定時の実績を上回った。
○指標 27 「学校のきまりを守っている」児童・生徒の割合	向上させる	小6 : 89.1% (全国 : 92.6%) 中3 : 93.2% (全国 : 95.2%) (平成 29 年 4 月調査)	小6 : 88.4% (全国 : 92.3%) 中3 : 94.7% (全国 : 96.2%)	△	計画策定時に比べ小学校で実績を下回った。

【基本方針4】

指標	目標値 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績値	点検結果
○指標 28 「高校・高等部での学習を通して『自分を大切にする』気持ちが高まった」と回答した府立学校生の割合	向上させる	59.1% (平成 28 年度)	60.4%	○ 平成 30 年度実績は、計画策定時実績よりも 1.3 ポイント上昇した。
○指標 29 「高校・高等部での学習を通して『人間関係』の大切さを学んだ」と回答した府立学校生の割合	向上させる	82.6% (平成 28 年度)	85.1%	○ 平成 30 年度実績は、計画策定時実績よりも 2.5 ポイント上昇した。
○指標 30 「悩みや心配ごとがあるとき、相談する相手がいない」と回答した府立学校生の割合	減少させる	7.2% (平成 28 年度)	7.6%	△ 平成 30 年度実績は、計画策定時実績よりも 0.4 ポイント上昇した。

指標	目標値 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績値	点検結果
○指標 31 暴力行為の発生件数の 千人率				
○指標 32 不登校児童・生徒数の 千人率				
○指標 33 いじめの解消率				

第1回審議会において審議済み

(注) 目標に対する平成 29 年度実績の進捗状況を記載。

【自己評価】

【基本的方向①】小・中・高一貫したキャリア教育を推進するとともに、地域と連携した体験活動や読書活動を充実し、粘り強くチャレンジする力をはぐくむ教育を充実します。

- ・粘り強くチャレンジする力の育成については、小中学校9カ年のキャリア教育全体計画の策定を100%達成し、取組みの検証・改善の重要性について指導するなど、キャリア教育の充実を図ってきた。しかし、「将来の夢や目標を持っている」児童・生徒の割合は計画策定時の実績を下回っており、今後とも、発達段階に応じたキャリア教育を一層推進していく。
- ・子どもの発達段階に応じた読書環境の充実を図るため、子どもの読書の重要性について理解を促進するためのフォーラムや、ビブリオバトルやえほんのひろば等の読書手法を学ぶ研修・講座のほか、学校図書館の活性化・公立図書館における児童サービス向上を目的とする「公立図書館と学校との合同研修」等の各種研修を実施した。「読書が好き」と回答した小6、中3の割合は、全国平均との差が縮小しているものの、全国平均を依然として下回っていること、また、実績数値が前回より減少している状況を踏まえ、子どもが読みたいと思う本と出会う機会の拡大等を一層進めるとともに、子どもの読書活動の推進に向けて、市町村に対する働きかけを進めていく。

【基本的方向②】歴史や芸術・文化・学術等に関する教育を推進し、郷土への誇りや伝統・文化を尊重する心をはぐくみます。

- ・近現代史をはじめとした歴史等に関する教育については、全校を対象とした教育課程協議会において近現代史をはじめとした授業内容の周知を行うなど、事業目標に沿って進捗している。歴史・文化にふれる機会の拡大については、大阪府内における国指定・登録文化財及び府指定文化財の件数は目標を達成した。市町村や教育機関と連携して出前授業や出張講座、世界遺産学習会を実施するなど、事業目標に沿って進捗しており、我が国と郷土への誇りや文化・伝統を尊重する心をはぐくむことができた。

第1回審議会において審議済み

【基本的方向③】民主主義をはじめ 第1回審議会において審議済み する意識や公共の精神を醸成します。

- ・政治的教養を育む教育については、各府立学校の指導計画に基づき、高校生向け副教材「私たちが拓く日本の未来」の中の「知識・理解に関する内容」について1単位時間以上、「実践的な学習活動に関する内容」について4単位時間以上、計5単位時間以上の指導を実施した。今後も、政治的教養を育む教育の充実に向け、好事例の共有を図っていく。
- ・市町村教育委員会に対して、ヒアリングにおいて、民主主義など社会の仕組みに関する教育の実施について働きかけた結果、各小・中学校等においては、社会科の学習において、「国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」ことに取り組んでいる。今後も、市町村教育委員会を通じて、各学校に、民主主義など社会の仕組みに関する教育の実施を促していく。
- ・「志（こころざし）学」（高校）を実施し、今後もその充実に努めていく。

【基本的方向④】 社会のルールを守り、違いを認め合い人を思いやる豊かな人間性をはぐくむ人権教育・道徳教育を推進します。

- ・小・中学校については、人権教育研修を実施するとともに、特別の教科「道徳」の実施に向けての実践事例集の活用を周知する等、道徳教育をより一層推進してきた。これらの成果として、「自分には良いところがある」と回答した小学校6年生、中学校3年生が、いずれも計画策定時の実績を上回った。「学校のきまりを守っている」と回答した小学校6年生については、計画策定時の実績より減少しているが、昨年度の回答より3.3ポイント上昇した。また、中学校3年生については、計画策定時の実績を上回った。今後も、人権教育・道徳教育の推進をはかり、社会のルールを守り、豊かな人間性が育めるように取り組んでいく。
- ・府立高校においては、人権教育研修など各種会議を開催し、その成果を取りまとめるとともに、各学校で作成した道徳教育の全体計画に基づき道徳教育を推進した。これらの成果として、「高校・高等部での学習を通して『自分を大切にする』気持ちが高まった」、「高校・高等部での学習を通して『人間関係』の大切さを学んだ」と回答した府立学校生の割合はいずれも向上している。今後も教育活動全体を通じて一人ひとりの人権が大切にされる学校づくりに取り組んでいく。

【基本的方向⑤】 子ども自身の問題解決能力をはぐくむとともに、関係機関との連携や支援チームの活用等により、いじめや不登校等の生徒指導上の課題解決に向けた対応を強化します。

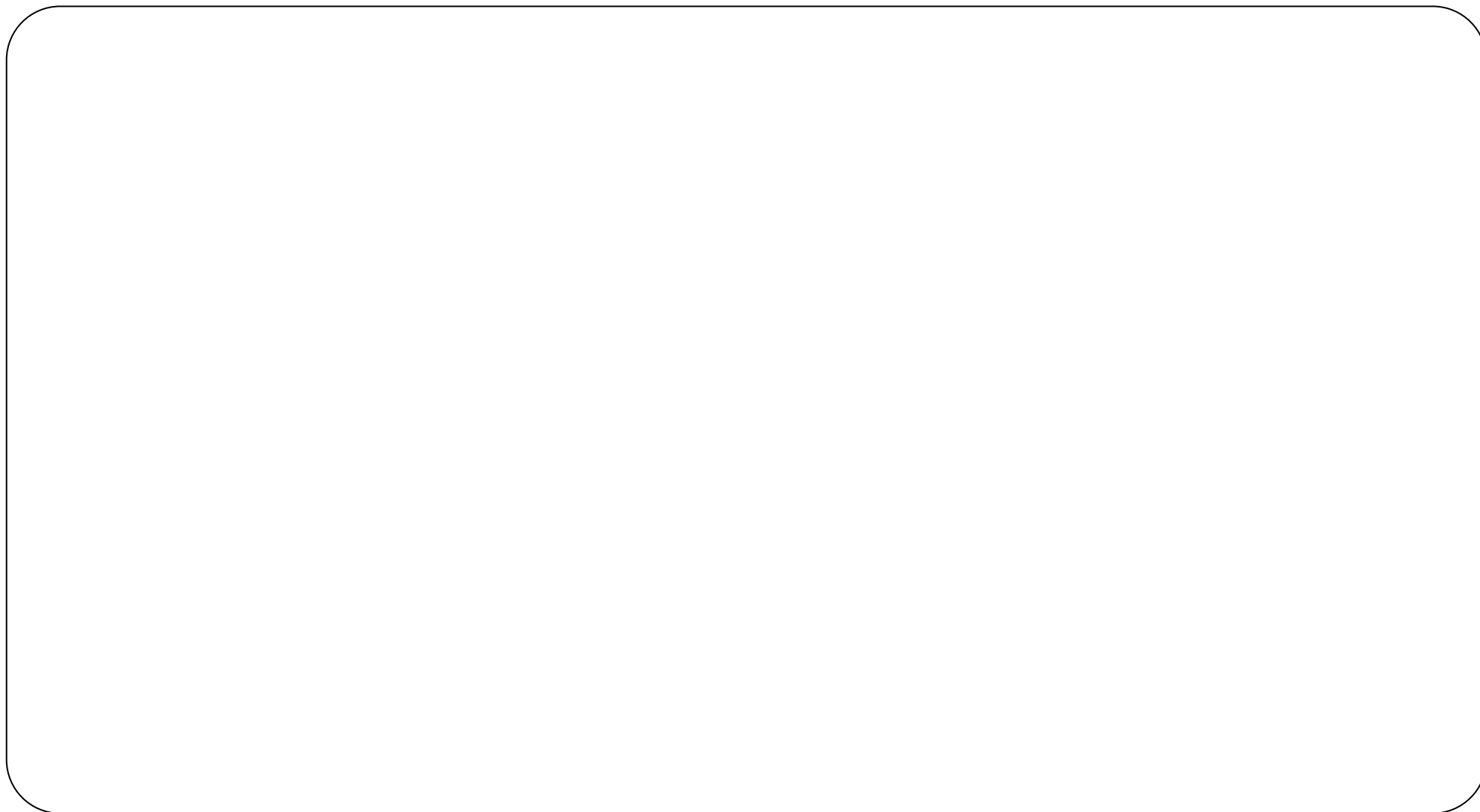
- ・中学校においては、平成27年度から生徒指導機能充実緊急支援事業を、小学校においては、平成28年度から小学校指導体制支援推進事業を実施し、平成29年度からは、この2事業を統合させ中学校区としての生徒指導体制の強化を図った。また、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの研修を充実させることにより資質向上を図るとともに相談の拡充を行うなど、児童・生徒の相談体制を充実させた。その結果、平成29年度の暴力行為の発生件数千人率が平成28年度と比べ、中学校において3.9ポイント、小学校において0.3ポイント減少し改善がみられた。また、いじめの解消率については、小学校は全国平均を上回ったが、中学校では下回った。不登校児童・生徒数の千人率は、全国と比較して依然として厳しい状況にある。また、各市町村において解決が困難な課題に対しては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどによるチーム支援体制の構築を図っていくことを通じて課題解決を進めていく。

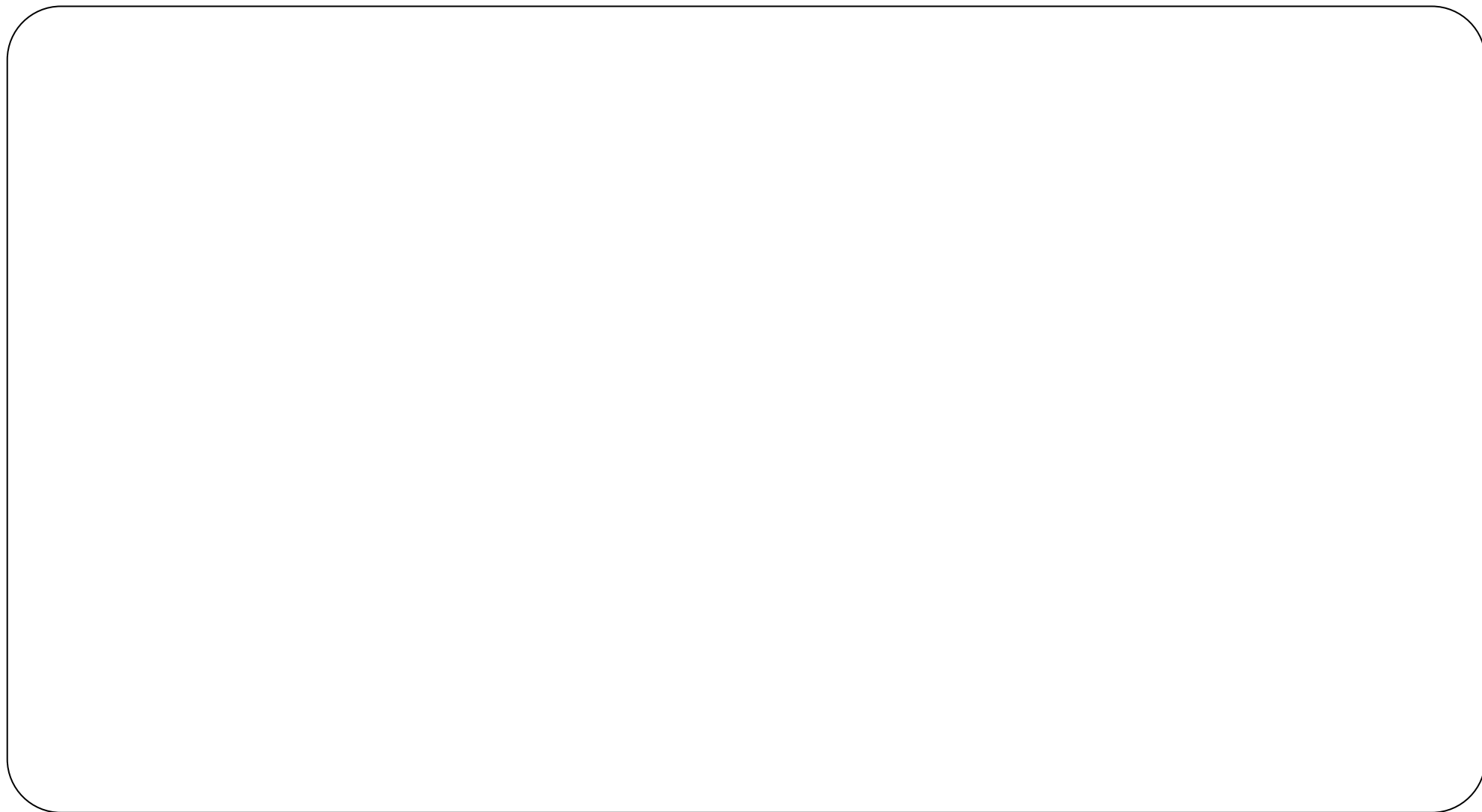
第1回審議会において審議済み

【基本的方向⑥】 教員研修の実施など校内の指導体制を強化し、体罰等の防止に取り組みます。

- ・全ての府立高校において生徒アンケートを2回実施し、体罰の早期発見に努めるとともに、長期休業前の通知等を通じて、相談窓口の周知を図った。このような取組みにより、引き続き、体罰の発見に努めるとともに、体罰の防止についても、啓発に努めていく。

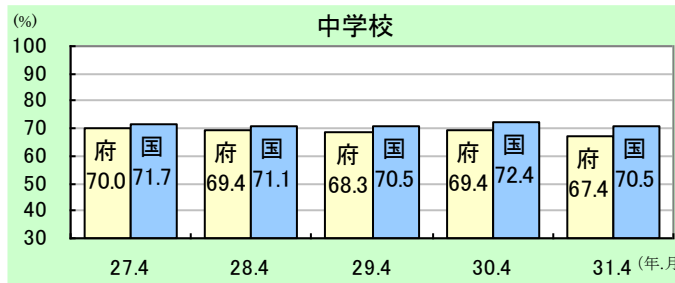
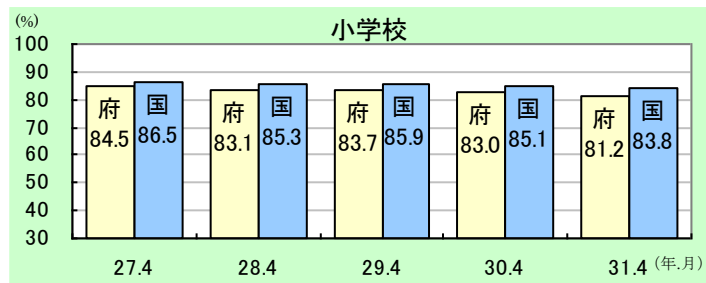
【評価審議会における審議結果】





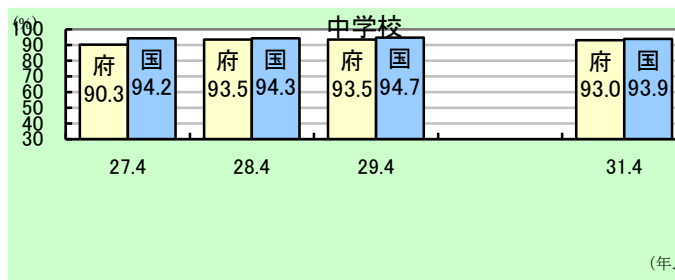
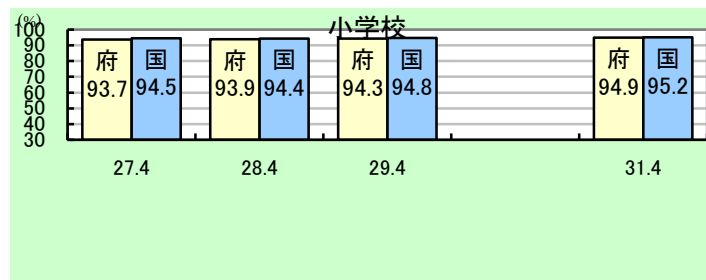
(参考)

◆指標 23 「将来の夢や目標を持っている」児童・生徒の割合



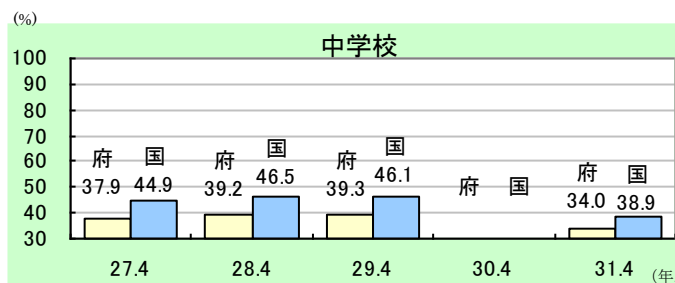
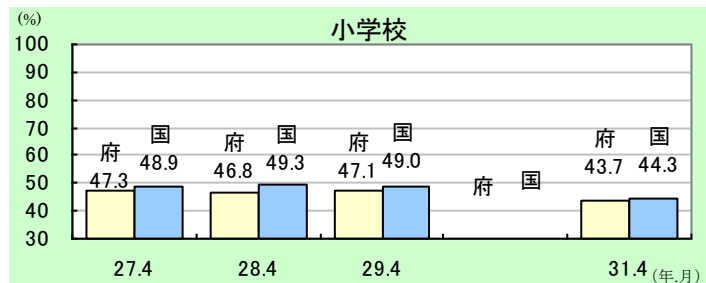
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標 24 「ものごとを最後までやりとげたことがある」児童・生徒の割合



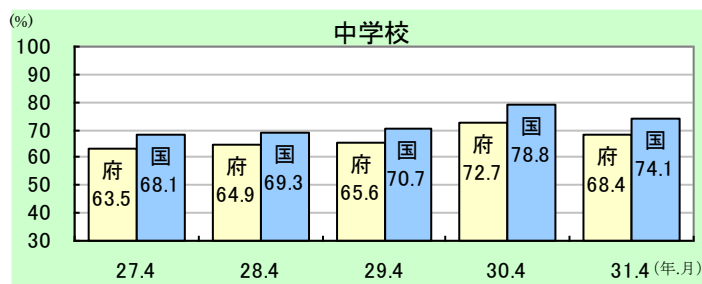
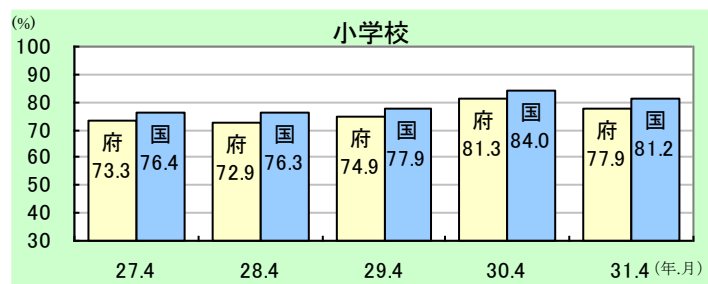
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)
※平成 30 年度調査は、項目なし

◆指標 25 「読書が好き」な児童・生徒の割合



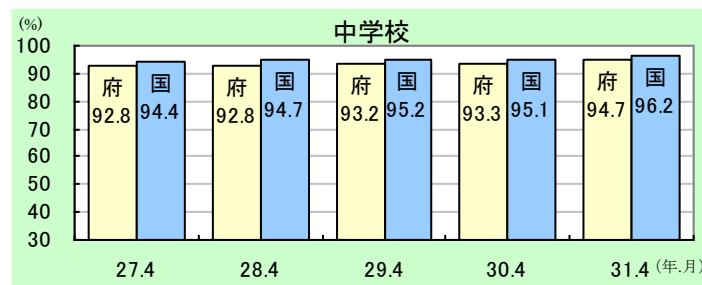
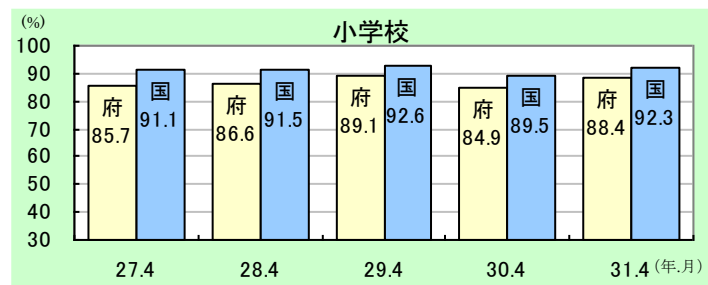
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)
※平成 30 年度調査は、項目なし

◆指標 26 「自分には良いところがある」と回答した児童・生徒の割合



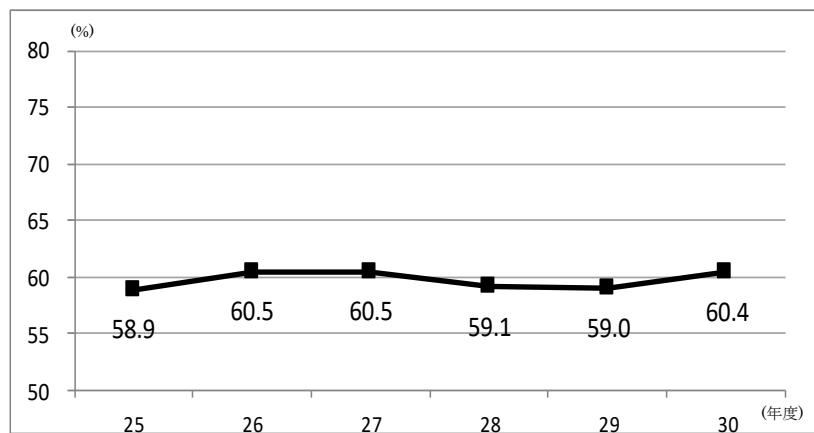
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標 27 「学校のきまりを守っている」児童・生徒の割合



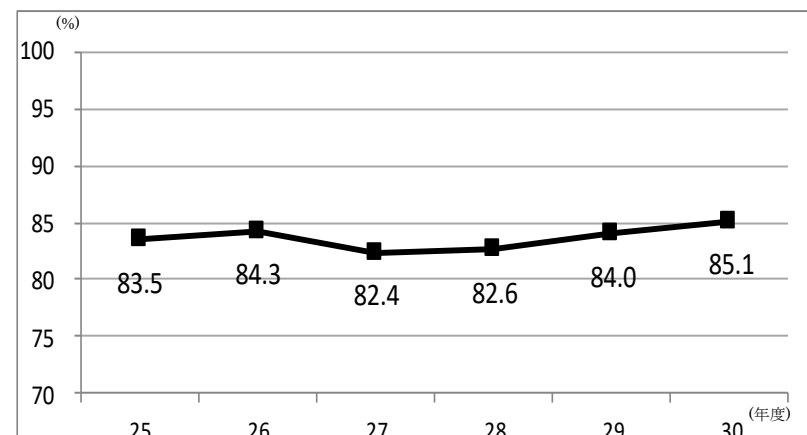
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標 28 「高校・高等部での学習を通して『自分を大切にする』気持ちが高まった」と回答した府立学校生の割合

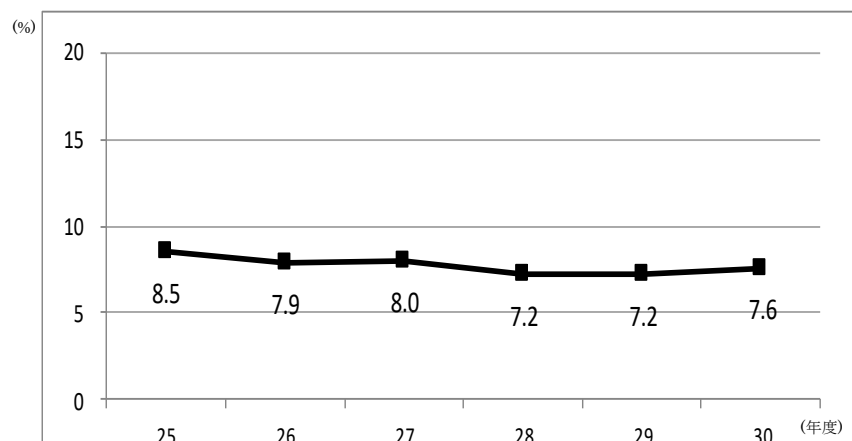


※府教育庁調べ

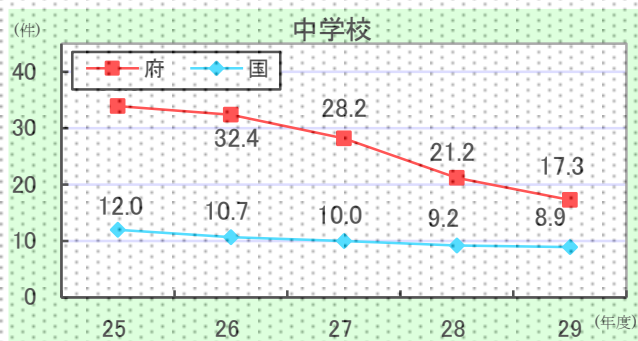
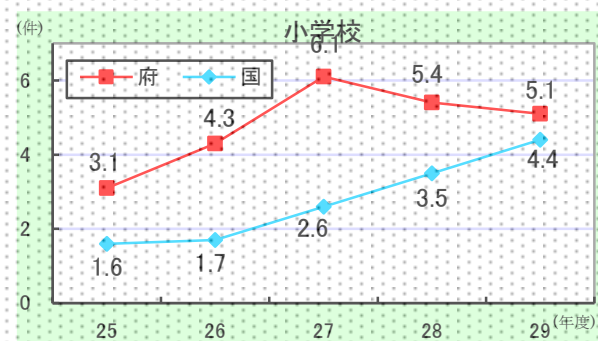
◆指標 29 「高校・高等部での学習を通して『人間関係』の大切さを学んだ」と回答した府立学校生の割合



◆指標 30 「悩みや心配ごとがあるとき、相談する相手がない」と回答した府立学校生の割合

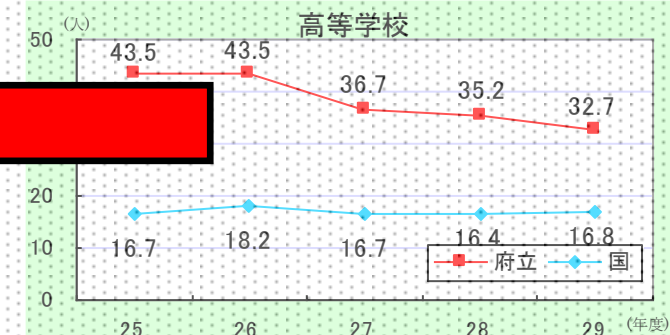
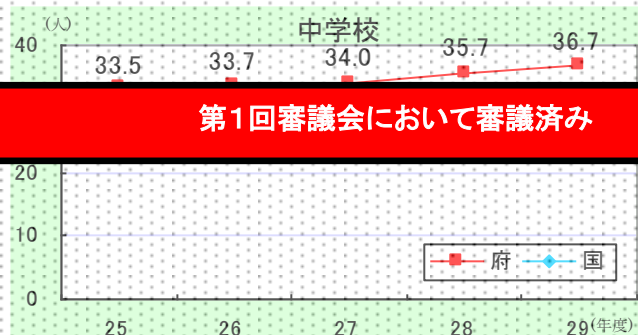
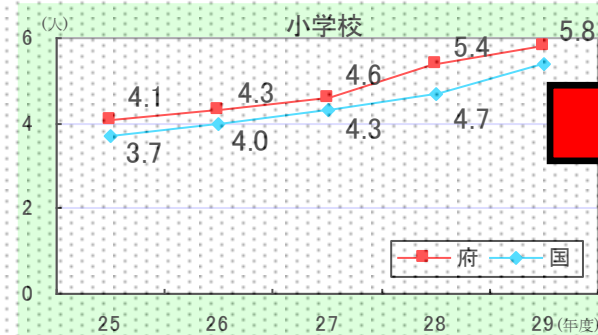


◆指標 31 暴力行為の発生件数の千人率



※文部科学省
「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

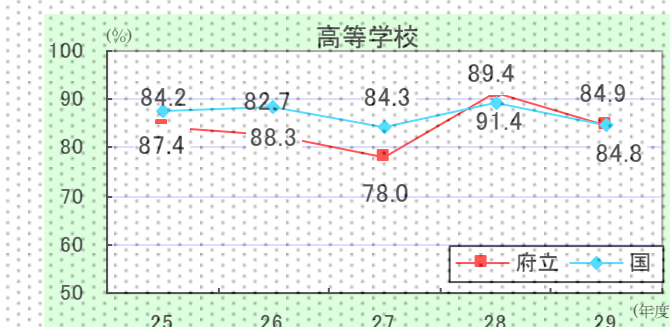
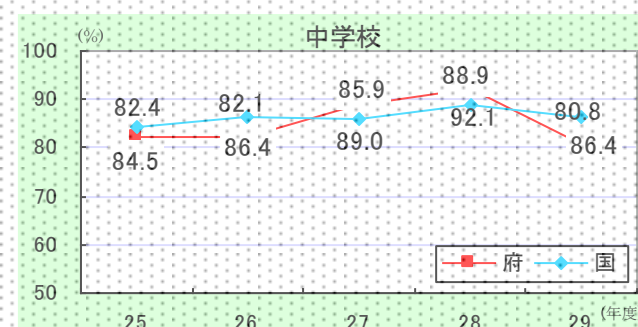
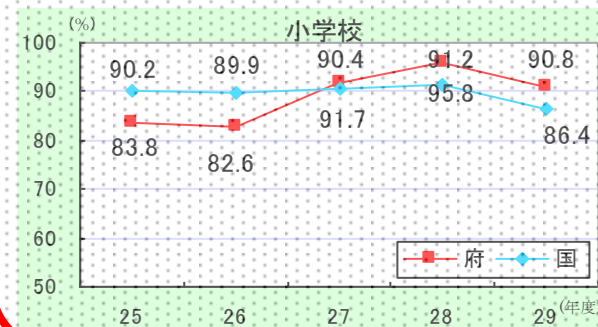
◆指標 32 不登校児童・生徒数の千人率



※文部科学省
「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」

第1回審議会において審議済み

◆指標 33 いじめの解消率



※文部科学省
「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」